

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(742)6462
担当部課名	環境事業部	東清掃事業	所	管理 係
事務事業名	施設運営費(東清掃事業所)		事業コード	21220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	~63 年度
施策名	第2施策	廃棄物の適正処理の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
------------------

3 事業概要

(1) 事業の目的 一般家庭及び事業所等から収集された、し尿及び浄化槽汚泥の適正処理と効率的施設運営を推進する。		(2) 対象(誰、何) 管理棟、処理棟等の建物及び設備	
		対象数	3施設
(3) 平成13年度事業の内容 ・し尿及び浄化槽汚泥の処理 ・脱水汚泥等の清掃工場運搬 ・決算額 75,141千円 (内下水道使用料 19,399千円) ・処理施設一元化に伴う職員1名の削減		(4) 総合計画・実施計画における概要 なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	処理量の対前年度減少率と同率の最終放流水の削減		
指標式	放流水の減少率 / 処理量の減少率 × 100 (33.6% / 13.3% × 100)		
指標設定の意図	処理量と最終放流水量の減少率の比較により、事業所全体の処理水量削減成果を表す。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100.0	134.7	a 252.6	b 100.0	100.0	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	80,501	75,995	75,141	86,682	80,941
	人員・時間数	(25.0人)	(22.0人)	(21.0人)	(21.0人)	(19.0人)
	人件費	210,500	185,240	176,820	176,820	159,980
	その他経費					
	合計	291,001	261,235	251,961	263,502	240,921
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 252.6%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%> )	

$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{252.6}{100.0} \times 100 = 252.6\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
---	----------------------------	----------------------------

理由： 最終放流水の水質調査結果を基に希釈倍率の見直しを行ない、放流量の大幅な削減を実施することができた。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 市内から排出されるし尿及び浄化槽汚泥は、今後も収集処理を要するものが存在するため事業の継続が必要である。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 B ▼	A : 妥当である	理由： 公共下水道の普及に伴い、処理量が減少をつづけているため、処理量、運転内容に即した運営が必要であり、見直しを要する箇所がある。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 一般廃棄物として、市が処理責任を果たすことが必要であり、処理量が年々減少を続けるため継続が必要である。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 施設運営は適正に行なわれている。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 B ▼	A : 有効である	理由： 廃止施設が残され未使用となっている敷地があるため、将来計画を定め、土地の有効利用を図ることが必要である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 希釈倍率の見直しや処理水の節減の一層の取り組みによって、削減が可能と思われる。
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 事業全般について随時見直しを行なうことによって改善が可能。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	現在、日量80kl程度の処理量があり、今後急激な減少は無いものと推計されることから、現施設による処理を継続しながら処理量の推移を把握し、効率的施設運営に取り組む。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--